

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
東区シンポジウム(第16回東区民まつり)事業		東区ふれあい事業実行委員会 東区民まつり運営委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	R1	R2(中止)	R3
区民間のコミュニティの輪を広げることにより、明るく住みよい安全なまちづくりの推進の一助とする。区民の親睦と連帯、並びに健康意識の高揚を図る。なお、今年度の開催においては、感染症や大規模災害等に多方面からスポットをあて、安全安心を考えること及び世界遺産と東区とのつながりをひもとき、魅力発掘を図る。	コロナ禍ということから、無観客での実施となったが、後日ホームページでの動画配信を行った。このことにより、健康や防災・防犯意識の向上を図り、明るく住みよい安全・安心なまちづくりを推進するとともに、地域の魅力を発掘し、まちづくりの担い手づくりが期待できる。	来場者数	32,000人	-	無観客
		配信映像視聴回数	-	-	4,242回
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	東区で開催する最大規模のイベントであり、コロナ禍の中、開催方法を大幅に変えながらも、区民の安全安心、また地域の魅力等を再考する貴重な機会となり、区において実施すべき事業であった。	◎	今回は、感染対策を重視した開催内容の検討及び工夫が必要となり、企画段階から地域の方を中心に構成される運営委員会また企画委員会との協議がより一層活発になった。	○	コロナ対策として、開催内容をシンポジウムという形に大幅に見直し、開催した。また、開催内容を観ていただけるよう動画配信も実施した。
④効率性		○	各校区に東区民まつりの費用面での負担だけではなく、企画の考案、準備までボランティアで関わっていただいた。		
⑤自立発展性		総合評価			
△	区民が企画の考察考案から当日の運営に至るまで大きな役割を担い、各種調整、広報等については広く周知を図る必要性があり、行政において担うべきことであることから共同によることが望ましい。	○	今年度も区民の方々にまつりの企画から携わって頂いた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため急遽無観客での開催となったが、健康・防災・防犯・子育てや、歴史・文化に関する講演やパネルディスカッション、ダンスパフォーマンス・狂言などを動画配信するなど工夫をし、広く視聴できるよう努めた。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	今回の区民まつりは、コロナ禍での実施となり、無観客での開催となったが、今後は区民が集まる形での開催や天候に応じた出展・出演を検討するなど、来場者から好評をいただけるよう、東区民まつり運営委員会委員の方々を中心に企画・立案を行う必要がある。 また、従来の東区民まつりで多数の来場者を得たことや、開催についての問い合わせも寄せられていることから、区民の関心も高く定着したイベントであると考えられる一方、感染対策の視点では、各種出演団体によるステージ、各校区による模擬店、各種出展団体等を、まつり会場一杯に配置しているため、今後は会場のキャパシティ等も鑑みながら、来場者数を想定することやいかに区民のニーズにあったイベントとすることが課題となってくる。				